

驚鼻修正術とは

驚鼻修正術とは、驚鼻の特徴である鼻筋の盛り上がったハンプと呼ばれる部位を修正し、鼻のラインをなだらかに調整する手術です。軟骨部はメスで切除し、硬い骨の部分はノミやヤスリで形を整えます。

出っ張りや段差がなくなること、横顔の印象が女性らしく整った顔立ちになります。

驚鼻修正術の持続性

驚鼻形成術は半永久的に効果が持続する整形です。鼻の組織を直接メスで切開し、骨を整えていく手術のため、術後に元に戻ってしまうことはありません。

驚鼻修正術後の状態・ケアについて

- ・当日と翌日は長時間の入浴はなるべく避け、軽いシャワー程度にしてください。術後1週間程度は血流が良くなることで腫れを防ぐため、熱いお風呂を避けていただくことをおすすめします。
- ・1週間後に来院していただき、抜糸を行います。その間はギプスやテーピングで手術部位を固定する場合があります。
- ・抜糸前は患部がなるべく濡れないようにしてください。ギプスやテーピングが取れてからは鼻周辺も優しく洗っていただいて大丈夫です。メイクはギプスを外してから可能ですが、最初のうちは鼻周辺に触れる際はなるべく優しく、できる限り負担をかけないようにしてください。
- ・強い腫れは、1～2週間程度で引いていき、その後も時間の経過と共に腫れが引きます。
- ・内出血については、個人差がありますが数週間前後で消失します。
- ・術後は、しばらくの間鼻に強い力が加わらないようにしてください。とくに術後1週間程は手術部位や傷口周辺が不安定な時期のため、なるべく鼻に負担がかからないよう十分に注意して生活してください。具体的には、うつ伏せで寝る、鼻を押す、ぶつける、鼻をかむ、鼻先や傷口周辺を触るといった行為はできるだけ行わないよう充分ご注意ください。
- ・飲酒は血流が良くなり腫れが長引く原因になりますので、1週間ほどお控えください。
- ・運動は血流が良くなり腫れが長引く原因になりますので、軽い運動は1週間、激しい運動は当面の間お控えください。

※気になる症状がある場合には1ヶ月程度様子を見てください。1ヶ月以上経過しても違和感が継続している場合、クリニックまでご連絡ください。

※授乳中の方は、術後48時間は断乳して頂きますようお願い致します。

驚鼻修正術で生じる可能性のあるリスクについて

【内出血】

鼻の周辺に内出血が生じる場合があります。最初は青黒い色みでその後黄色→肌色と変化していきます。出現や消失には個人差がありますが、数週間かかる場合があります。

【痛み】

局所麻酔の注射時に痛みがあります。術中は麻酔の効果で痛みはありませんが、術後麻酔が切れると痛む場合があります。痛みがある場合は処方される内服薬をお飲みください。

【腫れ】

当日より若干の腫れが起こります。概ね2週間ほどで腫れは引いていきます。

【感染】

術後、感染が生じると傷口の治りが悪くなったり、腫れが強くなる場合があります。場合により、抗生剤の内服や外科的処置が必要となる可能性があります。

【血腫】

術後に皮膚の中で内出血が生じると傷の中に血が溜まり、鼻先、鼻柱、鼻の中の粘膜が膨れ変色することがあります。

【過矯正、低矯正（ハンプが残る）】

鷺鼻形成術では鼻筋の出っ張った部分を低くして整える手術のため、骨を削りすぎると術前に比べて鼻筋が低くなったとを感じる場合があります。また、その逆に変化が乏しいと感じたり、小さなハンプが残る場合があります。

【鼻閉感（鼻詰まり）】

術後は鼻の中の粘膜が腫れるため、鼻詰まりが起こりやすくなります。時間経過により改善します。

鷺鼻修正術をお受けいただけない方

妊娠中の方、親権者の同意がない未成年の方、鼻に怪我や炎症がある方、局所麻酔剤にアレルギーをお持ちの方は手術を受けられません。